



郡山市立熱海小学校

学校便り No.43

平成 27 年 3 月 11 日

文責：伊藤孝行

今回の題字は 5 年生仙波舞美さんです。

文字とイラストの境をはっきりさせたことと、動物を描くことを頑張ったそうです。

4 年目を迎えた 3.11 東日本大震災！

本日の校庭の放射線量 0.087 μ Sv/h

平成 23 年 3 月 11 日に発災しました東日本大震災から 4 年目を迎えました。震災による津波で多くの命が失われ、現在でも行方不明の方がいます。さらには、震災後に起きた東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故で、福島県の広い地域で放射能に汚染されました。

現在では、校庭やプールは除染が進み、本日の校庭の放射線量 0.087 μ Sv/h で、この値は、郡山市内でも低い方に入ります。

子どもたちが口にする給食は、毎日欠かさず放射線量の測定を行っています。今年度は、一度も検出されることはありませんでした。

震災や原発事故の記憶はだんだんと薄れていきますが、それでよいものとそうでないものがあると思います。この機会に、ご家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか？

3/4 石籾分校 4 年生を送る会

石籾分校の子どもたちは、4 年生が最高学年で 5 年生になると熱海小学校（本校）に通うようになります。先日、その 4 年生を送る会に参加してきました。



＜心を一つにした全校合唱＞

3 年生の大河原心暖さんと大森彩花さんが中

心となり、全員で作り上げた送る会は、とても心温まるものでした。また、保護者や地域の方々も一緒になって 4 年生の卒業を祝っていただき大変嬉しく思いました。

3/4 6 年生による感謝の集い

6 年生の子どもたちから、感謝の集いにお招きいただき楽しい時間を過ごしました。



4 月に 6 年生になったばかりの頃は少し頼りない感じでしたが、一つ一つの行事が終わるたびに成長し、3 月に入り「卒業生」と呼ばれるようになってからは、顔つきも行動もぐっとおとなびてきました。

今回、特に強く感じたのは、子どもたちのまとまりの良さでした。力を合わせ、物事を成し遂げる良さを子どもたち自身も感じ取ることができた行事だったと思います。

キャリア教育について考える⑦（不登校）

兵庫県の淡路島で、大変凄惨な事件が起こりました。詳細は、現在調査中ということですが、犯人は 40 歳の男性で、引きこもり歴が 25 年くらいになるそうです。これは、中学校時代から引きこもりをしていることとなります。

今回の事件も様々な事情はあると思いますが、不登校から引きこもりとなり、孤立感を募らせて行ったのではないかとされています。

我々おとなは、子どもたちが正しいキャリア発達ができるよう見守り、学校から社会へスムーズに出ていけるようにしなければなりません。

不登校の状態から社会に出るのは、とてもエネルギーがいることです。未然防止に勝る良薬はありません。